JEMEA学会賞について

　日本電磁波エネルギー応用学会（JEMEA）は、電磁波エネルギーの応用に関する基礎的研究及びその応用技術の進歩並びに知識の普及を図り、もって学術文化の進歩普及、産業の発展及び生活の向上に寄与することを目的としています。これまでJEMEAでは、JEMEA功績賞（著しい功績）と進歩賞（若手奨励）を設けていましたが、2018年、新たにJEMEA学会賞を新設致しました。また2022年11月22日に

新にJEMEA学術功績賞、JEMEA功労賞を新たに設けました。各賞の定義はホームぺージでご確認下さい。<https://www.jemea.org/wp-content/uploads/2022/11/2022_11_22%E3%80%80Award-System.pdf>

以下に第5回JEMEA学会賞、第1回JEMEA学術功績賞、第1回JEMEA功労賞 受賞候補者を募集いたします。

名称：JEMEA学会賞・JEMEA学術功績賞、JEMEA功労賞

1. 対象：電磁波エネルギーの応用に関する研究成果、技術の発展、社会への貢献に顕著な貢献が認められJEMEAの正会員（個人）または団体会員の団体
2. 件数：各賞、年2件以内

応募資格：上記2)の対象者のうち、会員の推薦を受けた者。自薦可。

1. 表彰：次年度総会で受賞者発表、シンポジウムにて表彰。賞状ならびに副賞授与。
2. 受賞者の義務：次年度シンポジウムでの受賞記念講演実施
3. 応募方法：応募者は下記の必要書類を揃え、令和4年12月30日（金）（必着）までに日本電磁波エネルギー応用学会事務局宛に送付。office@jemea.orgあてメール添付送付

　　送付先（郵送物がある場合）：〒155-0033 世田谷区代田5-13-17 JEMEA事務局　佐藤容子宛

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　03(3414)4554

提出書類

1. 推薦書（様式１表裏）**PDF版メール添付送付**
2. 主たる業績の概要（A4用紙２ページ以内、図表挿入可）**PDF版メール添付送付**
3. 業績内容を支持する資料等（様式自由）**PDF版メール添付送付**

※記載内容は任意であるが、「論文や特許リスト」、「技術開発」、「JEMEA貢献内容」の３項目は項目立てして記載すること。（該当なしの場合でも項目立てして該当なしと記載）

尚、「論文や特許リスト」はマイクロ波関連のみを抜粋し、主たる論文別刷り5点以内を添えること。「技術開発」は生活の向上を図る進歩やマイクロ波関連製品開発と市場化などに関したものでその内容に関するエビデンス（報道記事やパンフレット等）を記載・添付すること。「JEMEA貢献内容」は会員経歴と学会活動の他にJEMEAが主催する学術集会（JEMEAシンポジウム、GCMEA）での発表（集会名、期日、題目、講演番号、演者）を含めること。

（様式１）表

□JEMEA学会賞　□ JEMEA学術功績賞　□JEMEA功労賞　　　　　　申請する賞に☑を入れてください。

令和4年度

候補者推薦書

令和　　年　　月　　日

特定非営利活動法人日本電磁波エネルギー応用学会理事長　殿

 　　　　　　　推　薦　者 　捺印不要（会員番号：　　　　　）

 住　　　所

 所　　　属

 （個人会員連名推薦の場合記入）

 連名推薦者氏名　　　　会員番号 所　　属

1. ＿

 ② 　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　＿＿＿＿＿

 ③ 　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　＿＿＿＿＿

 ④ 　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　＿＿＿＿＿

 ⑤ 　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　＿＿＿＿＿

 ⑥ 　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　＿＿＿＿＿

下記のとおり学会賞・学術功績賞・功労賞 候補者として推薦します。

|  |  |
| --- | --- |
| 推薦する業績/開発のタイトル |  |
| 氏名　（会員番号） |  |
| 最終学歴 | 最終学歴　　　　　　卒業・修了　学位：　 |
| 年齢 | 満　　　歳 |
| 所属機関名 |  |
| 部局（部署）・役職 |  |
| 所属機関所在地 | 〒 |
| FAX |  |
| E-mail |  |
| 略歴　　　　　　　　　　　　　 | 　　　　年　　月　　高校卒業 |
| 　　　　年　　月　　大学　学部　学科卒業 |
| 　　　　年　　月　　大学大学院　専攻卒業 |
| 職歴等： |

推薦理由（１枚以内）

（様式１）裏面

|  |
| --- |
| 本項記載者：推薦理由：以下、3項目についての記載＋推薦者自身のコメントをお願いいたします。1. 学術的評価
2. 社会への貢献度（製品化寄与、特許実施件数、セミナー講師経験等）
3. JEMEAヘの貢献度
 |